



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：ワカモノ × NPO インターンシッププログラム



2025年2月22日(土)、「地域でつながるワカモノ × NPO インターンシッププログラム(以下、ワカモノ × NPO)」の成果発表会が開催されました。

インターンシップとは、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」によると、一般的には「学生が企業等において実習・研修的な就業体験」を指します。志望企業の働き方や組織の雰囲気など、入社しないとわからないことを就職する前に体験することで、会社との適合性、自分がやりたいこととの整合性などの確認ができる、就職先を検討するのに有意義な情報が得られる活動です。

一方、ワカモノ × NPO は、高校生から大学院生までのワカモノが、企業ではなくて地域で活躍している市民活動団体やNPO団体に赴き団体の一員として責任もって活動することで、「自ら考え、学び、選ぶことができる力をつけた人材(ワカモノ)が育つ」ことを目指している活動です。ワカモノ × NPO 成果発表会では、9名のワカモノが半年のNPO等へのインターン活動を通じて考え・学び・成長したことを発表しました。今回は、「認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎(以下、まちスポット茅ヶ崎)」でのインターンの成果を発表した高校生：山下正太郎さんにインタビューしました。

(次ページに続く)



ワカモノ ×NPO インターンシッププログラム



トレカイベントに集まる小学生

趣味を生かしてイベント成功の方法を学んだ山下さん

まちスポ茅ヶ崎へ半年間インターンした山下さん。ワカモノ × NPOに参加していた仲の良い先輩からの勧めで挑戦しようと思い参加されたそうです。

まちスポ茅ヶ崎では、古典教室やビブリオバトル（ゲーム感覚で本を紹介し合う書評合戦）、納涼祭など、様々なイベントの設営や運営補助などに携わった山下さん。特に力を入れたのが「トレカ」を使ったイベント。収集や交換、ゲームプレイを目的として作られたトレーディングカード（以下トレカ）を使ったゲームのやり方や戦術を学べる「トレカの学校」や、実際にトレカを使ってゲームをする「トレカバトル」のイベントを開催・運営しました。まちスポ茅ヶ崎に来る小学生たちに大好評でした。

山下さんは、イベントのお手伝いを通じて「人と人とのつながりの大切さ」や「いろんな人の視点、考え方を知ったこと」、自分でイベントを開いたことで「イベントを成功させるためにはどんなことをすればいいのか」、「何よりもまずやってみることが大事なこと」を学んだそうです。今後もまちスポ茅ヶ崎でトレカバトルなどのイベントを続けていきたいと語ってくれました。

高校生くらいの年代が活動に加わる大切さを知った秦野さん

山下さんのインターンを受け入れたまちスポ茅ヶ崎。ご担当者の秦野さんに「受け入れで感じたこと」について伺いました。「山下さんが来て化学変化が大きかった。たくさんの小学生がいる場に高校生が来て、良いお兄さんの役割を担ってくれました。小学生たちが山下さんを目がけてまちスポ茅ヶ崎にきてくれるようになり、“ちょうどそのくらいの年代の人がいることの大切さ”に気付かされました。今後もワカモノを受け入れていきたいと思いますし、山下さんから温かさをもらった小学生が、将来高校生になった時にまたまちスポ茅ヶ崎に来て小学生へ温かさを伝えていくような、“想いが引き継がれる交流の場”を目指していきたいと思います。」



発表会で発表する山下さんとコメントする秦野さん

インターンに参加したワカモノも、ワカモノを受け入れた団体も、意義ある体験ができた「地域でつながるワカモノ × NPO インターンシッププログラム」。2025 年度の開催情報は 5 月頃に支援施設 HP から告知する予定ですので、お楽しみにしてください。
(取材・記事執筆：すながようへい)

団体紹介

特定非営利活動法人

まちづくりスポット茅ヶ崎

【設立】2015年3月

【代表】益永律子

【URL】<https://machispo-chigasaki.com/>

茅ヶ崎市南西部エリアのにぎわいとコ

ミュニティ形成に向けて、地域資源を活か
し、地域や世代をつなぐ交流の場や機会を
提供中。2015年4月から交流スペース「ま
ちスポ茅ヶ崎」の運営を始め、多世代の交
流、食を通じたまちづくり、魅力ある景観の
維持・継承などの事業に取り組んでいま
す。



団体の三つ折りパンフレットやイベントチラシなどで二次元コードを活用すると、インターネットと連動した広報ができます。2024年1月のNTTドコモモバイル社会研究所による調査では、携帯電話所有者のスマートフォン比率は2024年は97%という情報もあり、スマートフォンを通じたアプローチは団体広報においてもますます重要になっています。

今回のNPOTIPSでは、インターネットのみを使った広報の現在的な難しさや、二次元コードを通じた広報についてお伝えします。

フィルターバブル

現在、膨大な利用者を抱える動画サイトやSNS、通信販売等のサービスでは、ユーザーの利用履歴や検索履歴をもとに「次に見るもの」をサジェストしてくれるが多くなっています。そのため、小さい団体やマイナーなジャンルの活動に関する情報ほど、新規に触れる方を増やすことが難しい状況にあります。Xや

Instagram、facebookなどの媒体においては、フォローされるきっかけや閲覧されるきっかけづくりが必要です。

ローカルな活動の強み

SNSで上手に発信することなども大事ですが、多くの市民活動団体は日本の方にいる誰かより、活動地域にいる方に情報を届けたいのではないかでしょうか。展示・出展などの機会に興味を持ってくれた方へのアプローチとして、展示物や配布物に二次元コードを載せることは有効な手段となります。また、名刺などの掲載も有効です。

に直接触れてもらう機会を増やしていくましょう。

情報機器の発達に伴い、情報の届け方も変化してきています。ただし、ローカルなターゲットに向けた発信には、アナログな手段を組み合わせることが効果的な場合もあります。

広報物の作成についてもご相談を承っていますので、お困りごとがあれば市民活動推進センター・市民活動プラザむつあいまでお問合せください。



何を載せるか

三つ折りパンフレットや名刺などには、団体のウェブサイトやSNSアカウントを掲載するのが有効です。SNSアカウントをフォローしてもらうことができれば、団体の情報を継続して受け取ってくれる可能性があります。イベントチラシには申込ページなどを掲載して、団体の活動

春のきざし

最近、非営利組織の持続に関する相談を受けることが多くなりました。市民活動支援組織の会議や情報交流会等でも非営利法人の組織継続や継承が話題になることも少なくありません。解散や合併もある一方で一定数の設立もあります。ある種の新陳代謝が進んできています。非営利法人全ての数字はなかなか把握が難しいのですが、NPO法人は統計情報を内閣府がまとめ公表しています。その統計によれば、NPO法人数のピークは、2018年3月末の51,867団体でしたが、2024年12月末には、49,580団体と減少しています。設立数が解散数を下回ってきたのです。NPO法が施行された1998年12月以降、76,392団体のNPO法人の設立がありました。統計上では、この内の35%にあたる26,812団体の解散がありました。解散と聞くと残念なイメージがありますが、実はNPO法人は解決すべき課題の解決に至った場合の前向きな解散もありますし、合併も少なくありません。また、2008年から設立ができるようになった非営利型一般社団法人や2022年に誕生した労働者協同組合法人といった非営利法人の選択肢が増え、新たな社会的課題の解決を目指して、別な組織として各種法人を設立する市民も増えてきました。

2025年度に向けた資金助成の選考や審査が各所で始まり、数ヵ所協力をしています。助成元の募集内容にもありますが、上記の状況から、比較的新しく設立された団体の応募が目に留まります。応募団体の設立年を見てみると、コロナ禍で活動の制約が厳しい時期と思われる2020年～2022年に設立している団体の数が多いように思います。活動の制約の中、噴出していた社会的な地域活動の芽を見つけ出した組織が活躍をしています。もちろん旧知の組織の活動も新しい企画や事業で応募していることもあります。嬉しい反面悩ましい時期となっています。

2024年度も、もう少しとなりました。次年度に向けた計画や企画を作成している方も多いと思います。季節が移り変わるように、市民活動の春も近づいてきたように感じています。藤沢市の市民活動支援施設であります、「市民活動推進センター」と「市民活動プラザむつあい」を使い倒していただき、皆さまの活動の活躍をこれからも応援させていただきたくよろしくお願ひいたします。(て)

なぜなに
NPO
vol.188



講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■2025年度ロックー利用団体募集（二次募集）

～3月31日（月）

■会議室利用料金の改定

2025年4月1日（火）～

■市民活動推進センター 休館日変更

4月29日・5月6日

■市民活動プラザむつあい 休館日変更

5月5日

NEW!

支援施設からのお知らせ

■2025年度ロックー利用団体募集（二次募集）

「市民活動推進センター」および「市民活動プラザむつあい」では、2025年4月1日（火）から館内設置のロックーを利用する団体を募集しています。ご利用は、月単位、最長1年（2026年3月末まで）です。3月31日（月）までの期間、2月中にお申込みされなかった団体の申請を受け付けています。

空きがある場合、4月2日（水）より、2カ所目のロックー申し込みを受付いたします。

また、現在ロックーを使用されている団体は2025年3月31日（月）までにロックー内の整理をして下さいますようよろしくお願い致します。

締切 3月31日（月）



■会議室利用料金の改定について

平素より藤沢市市民活動支援施設をご利用いただき、誠にありがとうございます。

藤沢市では公共料金の見直しが進められており、藤沢市市民活動推進センターの会議室も対象となりました。

2025年4月1日より、下記の通り利用料金が変更となります。

- 会議室A：1時間 200円
- 会議室B：1時間 180円

ご利用される皆様におかれましては、
ご理解のほどよろしくお願ひいたします。



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516

Eメール：f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL & FAX：0466-81-0222

Eメール：f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪
サポーターも随時募集中です！